

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道366号 半田～大府バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	愛知県	
起終点	自：愛知県半田市亀崎北浦 至：愛知県大府市大府町二俣	延長	9.7 km			
事業概要	一般国道366号は、愛知県半田市を起点とし、大府市を経て愛知県名古屋に至る延長約24kmの幹線道路で、知多地域と尾張・三河地域を結ぶ重要な路線である。半田～大府バイパスは現道の東側にバイパスを整備することで、現道等の交通混雑を緩和し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約9.7kmの道路である。					
S50年度事業化	S39年度都市計画決定 (H16年度変更)	S51年度用地着手	S52年度工事着手			
全体事業費	327億円	事業進捗率	43%	供用済延長	6.7 km (暫定2車線)	
計画交通量	35,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) 129/396億円 (事業費：127/377億円 維持管理費：2.3/19億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 745/1186億円 (走行時間短縮便益：728/1095億円 走行経費減少便益：12/59億円 交通事故減少便益：5.3/32億円)	基準年 平成20年		
感度分析の結果	全体事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.2（交通量+10%） B/C=2.7（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.9（事業費+10%） B/C=3.1（事業費-10%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境の保全（対象道路の整備により自動車から排出されるCO2量の削減が見込まれる） ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間削減が見込まれる） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	知多地区道路整備促進期成同盟会にて早急な道路整備（H20.8.26）を要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業箇所周辺地区での開発が進んできており、知多地域と尾張・三河地域を結ぶ南北軸である本路線の必要性が高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまでに6.7km供用（暫定2車線）しており、引き続き残りの用地買収、改良工事を推進します。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	まずは平成22年度の暫定完了に向け、残りの改良工事を計画的に進める。					
施設の構造や工法の変更等	新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の利用などを推進している。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、事業の進捗の見込み、代替案の観点から事業継続が妥当である。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

